

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
公民・倫理	3	2	高等学校 倫理（第一学習社）	アプローチ倫理資料集（とうほう）
科目の概要と目標	人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方について、理解と思索を深め、人格の形成に努める実践的意欲を高めるとともに、生きる主体としての自己の確立を行い、良識ある公民として必要な態度を身につける。			
単元	学習内容	到達度目標		
第1章 青年期の課題と自己形成				
1 よく生きることを求めて	・人間とは何か ・自己と他者との関係	・私たちは、人間としてどのように生きていけばよいか考察させる。 ・他の生き物と区別される、人間の特質とは何か考える。		
2 青年期の課題	・ライフサイクルと青年期 ・青年期とは ・発達課題 ・アイデンティティの確立 ・モラトリアム	・ライフサイクルのなかで、青年期はどのような位置にあるか理解する。 ・青年期の発達課題とは、どのようなものか考察する。 ・アイデンティティの確立とは、どのようなことか理解する。		
3 自己の探究				
①青年期の心理とパーソナリティ	・自我のめざめ ・基本的欲求と防衛機制 ・さまざまな性格類型 ・道徳性の発達と成熟した人格	・青年期には、からだと心にどのような変化が起こるか考察する。		
②青年期の人間関係	・親子関係と自立 ・青年期の友人関係 ・青年期における恋愛 ・本当の自分とは	・青年期の人間関係は、どのように展開するのか考察する。 ・個性を育てるとは、どういうことをいうか考察する。		
4 現代の青年期	・おとなになりたくない若者たち	・自立しようとしめない若者が増えているのは、なぜか考察する。 ・生きがいとは何だろうか。どのように見いだせばよいのか考察する。 ・若者の社会参加には、どのような方法があるのか考察する。		
第2章 人間としての自覚				
1 ギリシャの思想				
①哲学の形成	・哲学の生命力 ・ロゴス ・ソフィスト	・哲学は、どのようにして形づくられたか考察する。		
②ソクラテス	・無知の知	・ソクラテスの「無知の知」やプラトンのイデア論はどんなものか理解する。		
③プラトン	・イデア論			
④アリストテレス	・徳の倫理	・古代ギリシャの思想は私たちににとってどのような意味をもつか考察する。		
⑤ギリシャ思想の展開	・ヘレニズム思想			
2 キリスト教				
①ユダヤ教の世界	・ユダヤ教の成立	・ユダヤ教は、どのように生まれたのだろうか。また、その特徴は何か理解する		
②イエス	・イエスの教え	・イエスの説く教えとは、どのようなものか理解する。		
③キリスト教の発展	・パウロの伝導	・キリスト教が、愛の宗教であるといわれるのはなぜか考察する。		
3 イスラーム	・ムハンマド ・絶対神アッラー ・クルアーン	・イスラームは、どのように誕生したか理解する。 ・イスラームには、どのような特徴があるか理解する。 ・イスラームでは、宗教が政治と密接な関係にあるのはなぜか考察する。		
4 仏教				
①インドの思想文化	・輪廻の思想	・インドに暮らす人々は、どのような死生観をもっているのか理解する。		
②ゴータマの教説	・ゴータマの悟り	・ゴータマが説いた縁起や四諦とは、どのようなものか理解する。		
③仏教思想の展開	・上座部と大乘仏教	・仏教思想の現代的な意義は、どこにあるのだろうか。		
5 中国の思想				
①中国の思想文化	・諸子百家	・中国の人々は、どのような自然観・人生観をもっているのか考察する。		
②儒家の思想	・孔子	・孔子・孟子が説いた仁、老子・荘子が説いた道とは何か理解する。		
③道家の思想	・老子	・儒教思想・道家思想の現代的な意義は、どこにあるのか考察する。		
第3章 国際社会に生きる日本人としての自覚				
1 日本の風土と伝統	日本の風土 水田稲作文化 清明心	・風土は、人間や文化にどのような影響をおよぼすのか考察する。 ・日本の風土は、どのような古代神話をつくりあげたのか考察する。 ・古代の日本人は、どのような倫理意識をもっていたのか考察する。		
2 外来思想の受容				
①日本仏教の展開（1）	聖徳太子	・仏教や儒教は、日本にどのように伝えられたのか理解する。		
①日本仏教の展開（2）	遣唐使がもたらした新宗派	・鎌倉仏教の各宗派はそれぞれどのような特色をもっているのか理解する。		
②日本儒学の展開	日本儒学 朱子学・陽明学・古学	・日本で儒学は、どのように発展していったのか理解する。		

<p>3 町人意識のめざめと庶民思想</p> <p>①義理と人情 ②国学の成立 ③庶民の思想 ④伝統思想の成熟</p> <p>4 西洋思想との出会い</p> <p>①幕末の思想 ②明治の啓蒙思想 ③日本社会とキリスト教 ④社会思想の展開 ⑤近代自我の確立 ⑥近代日本の思想課題</p>	<p>国学荷他春満・賀茂真淵 本居宣長・平田篤胤 石田梅岩・安藤昌益 二宮尊徳・吉田兼好 千利休・松尾芭蕉</p> <p>西洋思想の受容 明六社・福沢諭吉 内村鑑三・無協会主義 国粹主義と泰西主義 夏目漱石・森鷗外 西田幾多郎・和辻哲郎 柳田国男・小林秀雄</p>	<p>・義理と人情の観念は、どのように形成されたか理解する。 ・国学が提唱した人間尊重の思想とは何か考察する。 ・日本人の庶民思想や勤労倫理の特質は、どこにあるのか理解する。</p> <p>・幕末の思想には、どのような特質があるのか理解する。 ・文明開化は日本の伝統社会にどのような変化をもたらしたか考察する。</p> <p>・日本の近代思想はどのように展開したのか理解する。</p>
<p>第4章 現代に生きる人間の倫理</p> <p>1 人間の尊厳</p> <p>①ルネサンスと宗教改革</p> <p>②人間の探求</p> <p>2 近代の科学革命と自然観</p> <p>①近代の科学革命 ②経験論と合理論 ③自然観の転換</p> <p>3 自由で平等な社会の実現</p> <p>①社会契約の思想 ②人格の尊厳と自由—カント ③人倫と自由の実現—ヘーゲル ④功利主義の思想</p> <p>4 人間性の回復と主体性の確立</p> <p>①社会主義の思想 ②実存主義の思想 ③プラグマティズムの思想</p> <p>5 現代思想と人間像</p> <p>①心の深層と無意識 ②近代的理性の批判 ③言語批判と他者 ④正義と偏見</p> <p>6 生命への畏敬と社会奉仕</p>	<p>ルネサンス 宗教革命—ルター、カルヴァン パスカル・モンテーニュ</p> <p>ワッス＝ペーコン デカルト ダーウィン・スペンサー</p> <p>ホッブズ・ロック・ルソー カント ヘーゲル ベンサム・ミル</p> <p>マルクス・エンゲルス キルケゴール・ニーチェ ヤスパー・ハイデッカー—サルトル パース・シェームズデュイ</p> <p>フロイト・ユング・ホルクハイマー アドルノ・ハーバーマス・ レヴィ—ストロース・フーコー ウイトゲンシュタイン シュヴァイツァー ガンディー マザー＝テレサ 社会参加とボランティア</p>	<p>・ルネサンスの人文主義者は、人間の尊厳をどこに見いだしていたのか理解する。 ・宗教改革では、どのような信仰のあり方が求められたのか理解する。</p> <p>・近代の科学は、どのような背景から生まれてきたのか理解する。 ・経験論と合理論の考え方の特色は、どこにあるのか理解する。 ・自然と人間の共生をめざす手がかりは何か考察する。</p> <p>・ホッブズ、ロック、ルソーの社会契約説の違いは何か理解する。 ・カントとヘーゲルは自由の実現をそれぞれどのように考えていたのか理解する。 ・ベンサムとミルの考え方の違いは何か理解する。</p> <p>・社会主義はどのような背景で生まれ、発展していったのか理解する。 ・実存主義が追究した「生き方」とは、どのようなものか考察する。 ・プラグマティズムとは、どのような思想か理解する。</p> <p>・現代思想の特徴は、どのようなところにあるのか理解する。 ・現代思想が発見したり注目したものは、何か考察する。 ・私たちは、現代思想から何を学ぶことができるか考察する。</p> <p>・生命への畏敬とは、どのような実践をいうのか考察する。 ・サティア—グラハとは、どのような考え方が理解する。 ・「本当の愛」とは、どのようなものか考察する。</p>
<p>第5章 現代の諸課題と倫理</p> <p>1 生命の問題と倫理課題</p> <p>①生殖医療と遺伝子操作</p> <p>②脳死臓器移植と再生医療</p> <p>③自己決定の尊重と末期医療</p> <p>2 環境の問題と倫理課題</p> <p>①有限な地球環境 ②生物多様性と自然との共生 ③予防原則と世代間倫理</p> <p>3 家族・地域社会との倫理課題</p> <p>①少子化と男女共同参画社会</p> <p>②高齢化と地域社会</p> <p>4 情報社会と倫理課題</p> <p>①情報の洪水と情報リテラシー ②ネットワーク社会と情報モラル</p> <p>5 宗教・文化と倫理課題</p> <p>①宗教信仰への理解と現代社会 ②異文化理解と多文化共生</p> <p>6 国際平和と人類の福祉</p> <p>①地球市民として ②平和な世界に向けて</p>	<p>・生命倫理・クローン技術 ・バイオテクノロジー—遺伝子組み換え ・生殖革命 ・脳死と心臓死 ・臓器移植・ドナーカード ・インフォームド・コンセント ・尊厳死・安楽死</p> <p>・持続可能な開発 ・生物多様性 ・将来世代に対する責任</p> <p>・男女共同参画社会 ・ジェンダー ・核家族化・高齢社会</p> <p>・情報セキュリティ ・情報倫理</p> <p>・禁忌 ・エスノセントリズム</p> <p>・NGO活動 ・核兵器の廃絶</p>	<p>・生命科学や医療技術の発達によって、生命の誕生から終わりまで人間の手が加えられるようになってきたことについて考察する</p> <p>・生命倫理(バイオエシックス)は、聖域とされてきた遺伝子や生殖の操作段階にまで人間の手が入りこみ、遺伝子組み換えや生殖技術に適用されている。人間は、どこまで生命という自然の法則に関与してよいのか考察する。</p> <p>・環境問題は地球規模の問題であることを理解させる。 ・生物多様性を維持する国際的な取り組みを考察させる。 ・現代が未来世代に対してどのような責任を持つかを考察させる。</p> <p>・社会的環境の変化に伴い、家族とその機能も変化したことを理解させる。 ・ジェンダーの概念を理解させる。 ・日本社会において急速な高齢化の進展により、核家族化の進行などによって、日常生活での世代間交流の機会はあまりない現状について考察する。</p> <p>・情報セキュリティの重要性を理解させる。 ・現代において必要とされる情報倫理とは何か考察させる。</p> <p>・宗教を正しく知り、偏見をなくしていくことの重要性を理解させる。 ・異文化理解と多文化共生を日常的な課題として考察する。</p> <p>・地域紛争・民族紛争などの悲劇がくり返されているのはなぜか考察する。 ・国際平和を希求していくことの大切さを理解させる。</p>